

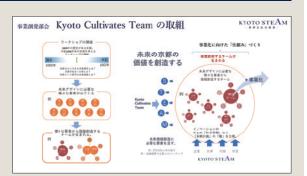
STEAMが生み出す文化・新事業 - KYOTO STEAM の事業創発をご紹介します -

Kyoto Cultivates Team ~1000年先に続く『文化で未来を作る』

本年度3年目を迎えるKYOTO STEAM事業創発「Kyoto Cultivates Team」は、これからの 日本も見据え、京都発で、未来に向けた新しい事業、ついては、産業にも繋がる仕組のタネを生み 出すエンジンとして、モチベーション高い仲間が活動を重ねて参りました。

今回、「KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2022」開催の中で、すでに、誕生していま す『中今-center of past & future-』『よわみプロジェクト』『KYOTO DAIRI PROJECT』の 成果報告を通じ、皆様から共感を頂戴し、次につながる契機となれば幸いです。

> KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会 事業創発部会長 渡辺 広之



Kyoto Cultivates Teamの活動から生まれた事業プロジェクトのご紹介

中今-center of past & future-

事業創発·未来フォーラム2022 第1部出演



中 NAKAIMA 今

本事業に関する連絡先

窓口「谷崎 テトラ」まで。

Email: tetra@kanatamusic.com

過去と未来に学ぶ、今ここに生きる知恵。

この時代に生きているということは、過去があり、そして今があり、未来があります。私たちはその中間点に います。それを神道では「中今(なかいま)」と表現しています。千年続いた知恵を千年先につなげる文化、 1万年続いた知恵を1万年先につなげる文化創造のために。「中今」プロジェクトでは、私たち日本人の 暮らし方、資源の使い方、ビジネスの仕組みなど、過去と未来に暮らしの知恵を学ぶ商品やサービスを セレクト。「今ここ (Be here now)」に生きる、暮らしの知恵をブランディングします。

代表:谷崎 テトラ

(放送作家/ 京都芸術大学客員教授)



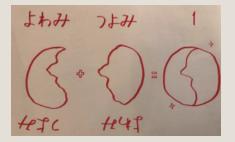
谷崎テトラさんからのメッセージ

持続可能な暮らしの知恵を、商品やサービスにつなげて行きます。 事業パートナーやコラボ、メディア作りや勉強会など、お声がけくだ



よわみプロジェクト

事業創発·未来フォーラム2022 第1部出演



本事業に関する連絡先

Facebook グループ「よわみプロジェクト」 にアクセスしてください。

※投稿欄に投稿いただくか、グループメンバーの 「増田 修治 までメッセージをお送りください。

「よわみ」を起点に未来創造へ。

社会で「よわみ」として蔑ろにされていたことに価値を見出すことで、社会の新たなあり方を発見できるか もしれない。「よわみ」を受け容れることは、社会の多様性を認めていくことになる。「よわみ」を「つよみ」に 変えることは、これまでにない視点と創造を生み出すことができるはず。このような考えの元、「よわみ」を 「つよみ」に変えることで、人間らしさを取り戻し、深い共感を手に入れ、社会を変革していくことを目指す プロジェクトです。

> 代表: 増田 修治 (株式会社電通京都支社 部長)



増田さんからのメッセージ

「よわみ」を問い直すことは、社会の多様性やイノベーションにつな がるはずです。大きく変化する社会の中で、「よわみ」を起点とした 未来創造につなげていければと考えています。



KYOTO DAIRI PROJECT



shinnichi.m.sato2529@gmail.com

窓口「事務局長 佐藤 慎一」まで。

2227年、平安京内裏を「DAIRI」として創出する。

平安時代に天皇が住み儀式や執務を行っていた内裏を、全く新たな意味を持ったDAIRIとして、焼失 から1000年後である2227年に創出しようというプロジェクト。つまり今から約200年後。地球の持続可 能性のための各種数値目標が、2030年や2050年に向けて議論される中、200年というタイムスケール で語ることは単なる夢物語でしかないのか。京都だからこそ出来るリアリティを持った提言や提案を産み 出していきます。

代表: 櫻井 繁樹

(KYOTO DAIRI PROJECT 委員長)



櫻井さんからのメッセージ

本プロジェクトの実施にあたっては、産学官民・老若男女、人種を問わ ず多様なメンバーの参画を得て、皆でフラットに対話をして進めていく ことを信条としております。

「議論」といわず「対話」というところがポイントです。



事業創発・未来フォーラム2022 第2部

KYOTO DAIRI PROJECT 「平安京にウグイスは啼いていたのか」

基調講演:

本事業に関する連絡先

『国際都市としての平安京』



今に通じる日本文化の礎を産み出した平安時代。そのひとつの要因として、894年に遣唐使が廃止されたこととい う通説がありますが、井上先生は、そうではなくて、世界に開かれた国際都市としての平安京を考えるべきだと主張 されています。気候変動等、地球レベルの課題が次々と明らかになり、その対応に迫られる現代。平安時代の グローバリズムは、明日の京都や日本、未来の地球にどんなヒントを与えてくれるのでしょうか。

講師:井上 満郎氏

(京都市歴史資料館館長/京都市埋蔵文化財研究所所長/京都産業大学名誉教授)

1940年、京都市生まれ。1960年、京都大学文学部入学。1969年、京都大学文学研究科国史学専攻博士課程単位取得満期退学。1982年、 京都産業大学教授。2004年、京都市歴史資料館館長。2014年、京都市埋蔵文化財研究所所長。2009年、京都新聞大賞(文化学術賞)。 2011年、全国社会教育功労者文部科学大臣表彰。2017年、京都市教育功労者表彰。2018年、京都市市政功労者特別表彰、京都市文化 功労者称号授与表彰。著書に『桓武天皇と平安京』(吉川弘文館、2014年)、『歴史でめぐる洛中·洛外』上・中・下(淡交社、2017年)、『お稲荷 さんの正体一稲荷信仰と日本人一』(洋泉社、2018年)ほか多数。

徹底対話:

『200年後の京都にウグイスは啼きつづけているか』 井上 満郎氏×平竹 耕三×松浦 俊昭

平安京から京都への歴史の中で、未来へ引き継げるもの、引き継ぐべきことは何か。 京都が京都という都市として、歴史や文化を継承する重要性を痛感している二名が、井上先生を 囲んで、基調講演を起点に思い思いの京都像から未来のあるべき姿を語ります。 KYOTO DAIRI PROJECTが視野に入れる200年という時間にリアリティを持たせ、未だ見えていない次年度以降 の展開を浮かび上がらせる、ざっくばらんな対話にご期待ください。



平竹 耕三 (京都産業大学文化学部教授)



松浦 俊昭 (壬生寺貫主)



Kyoto Cultivates Team 結成に至る「STEAMの可能性」を討論 (KYOTO STEAMイノベーションシンポジウム 2019.3.25)



Kyoto Cultivates Teamから創発された4つの事業アイディアを発表 · (KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2020 2020.3.26)



創発事業「KYOTO DAIRI PROJECT」のキックオフを実施 (KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2021 2021.3.26)

KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム2022

Outline (開催概要)

企業、アーティスト、大学等、アート×サイエンス・テクノロジーに関わる人材が集まる 「Kyoto Cultivates Team」では、1000年先まで続く「文化で未来を作る」をコンセプトに、 STEAM(科学、技術、工学、芸術、数学)の専門家たちが、それぞれの専門領域を生かした 意見を交わし、事業の創発に取り組んできました。

本フォーラムでは、創発された2つの事業プロジェクトの事業テイクオフに加え、昨年度に 事業キックオフした「KYOTO DAIRI PROJECT」 2年目の活動報告を行います。

■開催日時 2022年1月21日(金) 18:00-20:30

■プログラム オープニング Kvoto Cultivates Team 活動成果報告

第一部 創発プロジェクト 事業テイクオフ

- (1) 中今-center of past & future-
- (2) よわみプロジェクト

第二部 KYOTO DAIRI PROJECT 「平安京にウグイスは啼いていたのか」

= # オープニング

渡辺 広之 (京都芸術大学芸術教養センター 客員教授/

KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会 事業創発部会長)

第一部

- (1) 北林 功 (COS KYOTO株式会社 代表取締役/文化ビジネスコーディネーター) 谷崎 テトラ (放送作家/京都芸術大学 客員教授)
- (2) 倉増 京平 (大阪大学大学院工学研究科招聘研究員) 增田 修治 (株式会社電通京都支社 営業部長)

第二部

- (1) 挨拶 櫻井 繁樹 (KYOTO DAIRI PROJECT 委員長)
- (2) ロードマップ報告&ロゴ発表 佐藤 慎一 (KYOTO DAIRI PROJECT 事務局長)
- (3) ご来賓挨拶 髙田 行紀氏 (文化庁地域文化創成本部 事務局長)
- 井上 満郎氏 (京都市歴史資料館 館長/京都産業大学名誉教授) (4) 基調講演

講演テーマ「国際都市としての平安京」

(5) 徹底対話 「200年後の京都にウグイスは啼きつづけているか」

井上 満郎氏 (既出)

平竹 耕三 (京都産業大学文化学部 教授/KYOTO DAIRI PROJECTメンバー)

松浦 俊昭 (壬生寺貫主/KYOTO DAIRI PROJECTメンバー)

事業創発部会 Kyoto Cultivates Team メンバー ※50音順

■事業創発部会コアメンバー

池嶋 徳佳 (株式会社いけじま企画 代表取締役)

(文化政策研究者/同志社大学経済学部 教授) 太下 義之

北林 功 (COS KYOTO株式会社 代表取締役/文化ビジネスコーディネーター)

倉増 京平 (大阪大学大学院工学研究科招聘研究員)

孝本 浩基 ((公財)京都高度技術研究所 地域産業活性化本部長)

(放送作家/京都芸術大学 客員教授)

中島 さち子 (株式会社steAm 代表:音楽×数学×STEAM教育/大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー)

中村 多伽 (株式会社taliki 代表取締役) 増田 修治 (株式会社電通京都支社 営業部長)

渡辺 広之 【事業創発部会長】(京都芸術大学芸術教養センター 客員教授)

■KYOTO DAIRI PROJECT

(クリエイティブディレクター/公益財団法人陽明文庫評議員/宮中歌会始講師) 近衞 忠大

(KYOTO DAIRI PROJECT 事務局長)

櫻井 繁樹 (開志専門職大学 副学長(学長代行)·教授/京都大学名誉教授·同総合生存学館特任教授)

(京都大学博士課程(総合学術, 哲学専攻)/ダボス会議 Global Shaper) 野村 将揮

平竹 耕三

(KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会 プロデューサー/京都産業大学 教授) 藤井 友子

(染匠/彩琳株式会社代表取締役/開志専門職大学 客員教授) 松浦 俊昭 (壬生寺貫主/唐招提寺副執事長/京都観光おもてなし大使)

■中今-center of past & future-

池嶋 徳佳 (既出) 北林 功 (既出) 谷崎 テトラ (既出)

中家 寿之 (グラフィックデザイナー/京都芸術大学 非常勤講師)

■よわみプロジェクト

(既出) 倉増 京平

抽野 裕子 (株式会社ルゥルゥ商會 代表取締役/コミュニケーションデザイナー)

内藤 麻美子(色彩作家) 増田 修治 (既出)

三宅 譲 (株式会社ワコール ワコールスタディホール京都マネージャー/クリエイティブディレクター)

柳 真一 (株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸 京都店)

KYOTO STE**A**M

世界文化交流祭

アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに、未来 志向で革新的なプロジェクトにより構成されるフェス ティバル。

「世界の未来に希望が持てる社会を構想し発信 すること」をビジョンとし、フェスティバルの起点と なった〈KYOTO CULTIVATES PROJECT〉の 理念「京都は耕す、育む、磨く」を体現する祭典を 目指しています。

アーティスト、科学者や研究者、職人や技術者、さ らには子どもから大人までが参画し、企業や大学・ 研究機関と協働して、多彩なプロジェクトを進めてお り、その成果やプロセスを、展覧会、公演、トーク、 ワークショップなどの形で発表します。

※STEAM……Science (科学)、Technology (技術)、 Engineering (工学)、Arts (芸術)、Mathematics (数学) の頭文字を組み合わせたもの

■特別協力

engawa KYOTO

https://engawakyoto.com/



Photo by Shinichi Yasuda

engawa KYOTOは、人・アイデア・事業構想など、さまざま な"縁"をつなぎ、イノベーションを実現する事業共創拠点です。 京都に蓄積された歴史や文化、技術をいかしながら、これまで になかった"縁"をつなぎ、ビジネスへと育んでいきます。



京都府京都市下京区二帖半敷町647 オンリー烏丸ビル1·2F

主催: KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会

参画団体:京都市/京都市立芸術大学/京都市京セラ美術館/京都市動物園/(公財)京都市芸術文化協会/(公財)京都市音楽芸術文化振興財団/ (公財)京都高度技術研究所/京都商工会議所/京都経済同友会/日本放送協会京都放送局/京都新聞社/カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)

問い合わせ先: KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会事務局 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館内 (京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課)















TEL: 075-752-2212 FAX: 075-752-2233 Email: info@kyoto-steam.org